

令和5年4月24日

天龍中学校長 塩澤孝仁

保護者の皆様へ



新入生及び保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

また、新2・3年生及び保護者の皆様、進級おめでとうございます。

職員一同ご家庭や地域と連携し、お子様の望ましい成長のために全力で努めて参りたいと考えておりますので、ご理解ご支援をよろしくお願い致します。

生徒の学校での活動の様子や予定は、週末に各学年より出される学年通信にてお知らせしていきますので、ご一読ご確認いただきたいと思いますが、学校全体の内容など他学年の様子はなかなか知ることができないのが現状です。

そこで、保護者の皆様だけでなく、村内外のより多くの方々に知っていただくために、本年度も引き続き天龍中学校ホームページに“校長室より”としてお知らせしていきたいと思っております。また、『天龍中だより』をご家庭への配布と村内回覧をさせていただきますのでご覧いただければと思っております。お気づきの点等ございましたら、学校（校長：塩澤）までお気軽にご連絡ください。

～入学式・始業式での学校長式辞から 抜粋～

～前略～

天龍中学校では学校教育目標を「自主・敬愛・練磨」とし、その目標を達成するために重点目標を『ひとりになれる自立 ひとつになれる協働』として取り組んでいます。そして、天龍村でしかない、また、少人数である事を最大限に活かした学習に取り組んでいます。今年度は全校生徒七名の仲間で「ひとりになれる自立の姿とひとつになれる協働の姿」を目指して頑張っていきたいと思います。

さて、新二、三年生の皆さん、進級おめでとうございます。新入生の入学を待ち遠しく待っていたことと思います。新入生が天龍中学校の生徒として、早く慣れて、天龍中の伝統を引き継いでいけるように、中学生としての生活の仕方や学習の仕方など自らの行動で示してあげてください。

昨年は、重点目標「ひとりになれる自立」の姿なるために常に自分なりの問いをもって自分の考えで自分なりの正解を求めていこうとする中学生になりましょう。と話しました。今年は、自立のために大切な二つをお話しします。

一つ目は、やってみようという「目標への挑戦」です。別の言葉で言うと「なりたい自分を想像する」ことです。授業でも家庭学習でも、また部活動でも自分はどのなりたいのか決めて「やってみよう」と挑戦することが大切です。WBCで活躍した大谷選手もこれを大事にしているそうです。

二つ目は、「できないは、可能性」未来志向で考えようということです。できない・苦手というのは、人と比べたり完璧を目指しすぎたりしていることが多いと思いませんか。苦手だと自分で思い込んでいるだけなのかも知れません。人と比べることではなく、自分らしくできる可能性を伸ばしていくことが大切です。まず、できるようになりたいと思うことです。それが自分らしい学びとも言えます。

自立した学びにしていくために他にも大切なことがあります。また次の校長講話で話をしていきたいと思っております。「ひとりになれる自立とひとつになれる協働」を目指して生徒・職員みんなで頑張っていきたいと思います。

～後略～

令和4年度末に転退職された先生方 ～お世話になりました～

白鳥 京志 先生・・・佐久市立野沢中学校へ
 田中 大地 先生・・・松川町立松川中学校へ
 苫坂 勇太 先生・・・長野県箕輪進修高等学校へ
 シェンジー・ネジヤット先生・・・埼玉県朝霞市へ

令和5年度 職員組織

校長：塩澤 孝仁 教頭：保科 公幸 教務主任：渡邊 康平					新任職員
事務主事：森本 美智子 養護：浅井 満帆 図書管理員：大森 日菜					
ALT：ヤニック・プルサポーコ ICT支援員：高野 峻典 用務員：伊藤 照子					若林隆俊（阿智中学校より） 村井美弥（天龍小学校より） 井原雅貴（松川中学校より） ヤニック・プルサポーコ （大鹿中学校より）
1 学年	担任：井原 雅貴		副担任：唐澤 京子		
2 学年	担任：遠山 奈菜		副担任：吉沢 周 村井 美弥		
3 学年	担任：渡邊 康平		副担任：若林 隆俊		
(国) 村井	(社) 井原	(数) 若林	(理) 渡邊	(英) 唐澤	
(音) 遠山	(美) 山内	(体) 吉沢	(技) 保科		
(家) 今井					



今年度の入学生は 1 名。全校生徒7 名と17 名の職員で天龍中学校の文化を創り上げていきます。天龍村でしかできない少人数の特性を生かした学びを展開していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。